若かりし頃？の施設部事務室にて

昨年は、阪神大震災、オウム事件、バブル経済崩壊による経済不況など暗いニュースの続いた中で、広島大学にとっては長年の懸案であった統合移転を完了し、記念すべき年になり大変おめでとうございました。

この記念すべき年の統合移転記念式典を待たず九月末をもって退官したことは、少なからず心残りではありましたが、私自身の人生の節目となる年にもさせていただきました。

思えば、新制大学発足後間もない昭和三十年に広島大学にお世話になりましたが、当時の東千田地区には、現在放送大学（元教育学部）のある校舎がただポツンと整備されている状態で、爾後四十年間幾多の変遷を経て、タコ足大学の解消整備、県立病院の移管、大学紛争を経ての統合移転等々、今や全国有数の大学へと発展してきましたが、このなかで事務の裏方として、ほんの僅かながら関わったことを光栄に思う今日この頃です。

今後は、平成元年から四年間携わった霞地区再開発が一日も早く実現することを願うとともに、四十年間お世話になった方々への感謝のお礼と、広島大学の限りない発展を陰ながら祈念して、退職者のことばとさせていただきます。

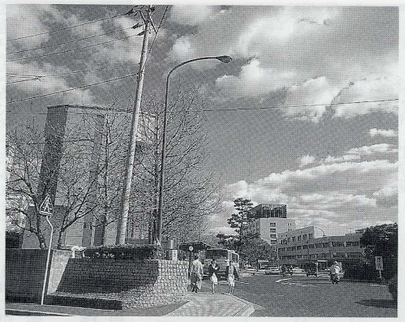
＊　＊　＊

昭和三十年に広島大学に奉職され、四十有余の長きにわたるお勤めご苦労様でした。その間、主として会計畑を歩まれ、大学行政にたいへんご尽力されました。いつも職場の融和を大切にされ、真摯な態度で部下の育成と指導に当たられました。

温厚なお人柄から優しさを併せ持つ苦労人でもあられ、学内の信頼も厚く、多くの方から敬愛されてきました。また、趣味も広く、地域でも多くの友人をお持ちのようにお聞きしております。

今後もご健康に留意され、悠々自適の人生をお送りされることをお祈りします。

（理学部事務部　室継紀　記）


霞キャンパス入口

＊　＊　＊

三十九年間、国立大学等の発展にご尽力され、お元気で定年を迎えられましたことに対し、心からお喜びを申し上げます。

本学でのご勤務は二年間でしたが、その間において、霞再開発をはじめ特定機能病院の承認、阪神・淡路大震災に伴う医療支援、全国国立大学病院長会議の開催、医学部創立五十周年記念行事の実施、大学院医学系研究科保健学専攻の設置など幾多の重要事項について指揮及びその衝に当たられ、まことにお疲れ様でございました。

我々部下に対する指揮・指導に当たっても、その風貌・風格どおり泰然自若とし、人を分け隔てすることなく接しられ、判断を仰げば迅速・的確な結論を示され、気持ちよく、楽しく仕事をさせていただいた、という感慨でいっぱいです。

家庭にあっては愛妻家であり、趣味のドライブを奥様の趣味である写真撮影に役立てておられるとのことであり、わが身を思えばこの点においても、もって範とすべきであると思う次第であります。

退職後はご健康に留意され、奥様、ご子息様とますます仲睦まじくお過ごしくださるよう祈念いたします。

（医学部総務課　平田幸雄　記）

医学部
林茂樹
〈部局歴〉
昭31・7　（岡山大学）
58・4　（米子工業高等専門学校）
60・4　（津山工業高等専門学校）
62・10　（鳥取大学）
平元・10　（岐阜大学）
3・4　（福井医科大学）
5・4　（山形大学）
6・4　医学部

＊　＊　＊

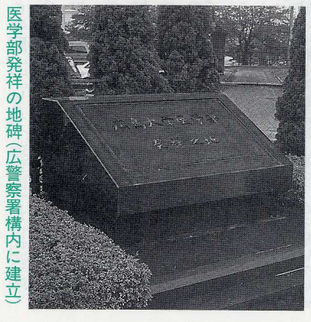
昭和四十年に奉職されて以来、三十年余りの長い間、自動車運転手として公用車の運転業務一筋に勤務され、また、お元気で定年を迎えられましたことに対し、心からお慶びを申し上げます。

渋くてスマートな風貌と誠実な人柄は、まさに道先案内人であり、上司からも大変な信頼がありました。

退官後は、健康に十分留意されて、趣味のゴルフ、釣りなどで楽しい日々をお過ごしくださるよう願っております。

（医学部　神尾博　記）

医学部
山下秀雄
〈部局歴〉
昭40・9　教育学部東雲分校
44・10　経理部経理課
50・4　文学部
62・4　医学部附属病院管理課
平元・5　医学部


医学部発祥の地碑（広警察署構内に建立）

医学部附属病院
下西克子
〈部局歴〉
昭43・4　医学部附属病院
51・5　医学部附属病院看護部

クリスマスツリーの飾付けをした後，チーズ

昭和四十三年から医学部附属病院にお世話になりました。月日のたつのは早いもので、東病棟四階に勤務してはや二十八年の歳月が流れ、数々の思い出が走馬灯のごとく脳裏をかけめぐります。

勤務当初は病院内の場所やいろいろな専門用語がわからず戸惑う私に優しくご指導くださいました多くの方に心から感謝しております。

いろいろな患者さんに接し、自分が健康で働けることを感謝しながら一生懸命勤めてまいりました。今振り返ってみますと、多くの患者さんや職員の方との出会いや交流をとおして私自身が成長させていただいたように思います。これも看護婦長をはじめ多くの方々のお陰と感謝しております。退職しましても皆様方のご恩は一生忘れずに、健康に留意しながら第二の人生を有意義に過ごしてまいりたいと思います。

最後に、今後の広島大学の発展と皆様方のご健勝を心からお祈りいたします。

＊　＊　＊

下西さんは、昭和四十三年に奉職されて以来二十八年間、「東病棟」四階で看護助手として責務を全うしてこられました。お元気で定年を迎えられましたことに対し、心よりお喜びを申し上げます。

温厚誠実で明朗な人柄は、職員はもちろん患者さんからも慕われ、私ども心から敬愛しているところです。私たち看護婦以上に細かいところによく気がつかれ、まさに縁の下の力持ちとして、長年私たちを助けてくださいました。

退職後は、健康に十分留意され、趣味の旅行や盆栽で楽しい日々をお過ごしください。長い間本当にありがとうございました。

（医学部附属病院看護部　磯部和美　記）

医学部附属病院看護部
髙本宣子
〈部局歴〉
昭34・4　医学部附属病院
51・5　医学部附属病院看護部

昭和三十四年、霞キャンパス赤煉瓦の手術室に採用されました。当時は開頭術が低体温麻酔で行われ、私たちは患者さんを氷水に浸し、凍傷を生じないよう体温を下げることに一生懸命の日もありました。

手術室の規模は小さく、家庭的雰囲気で仕事ができた反面、労働条件は過酷で、二年後私は離職し、家業に専念しました。しかし、姑の他界と三児の成長により、知的な生き甲斐を求めて、三十七歳の春再び就職しました。あの頃は、十年余りの空白を取り返すことができました。それは先輩の温かいご配慮とご指導、そして自分の若さと強い責任感の成果だと思っています。

今は、手術室はもとより全てが高度化し、若くても十年の空白が容易に取り戻せる状況ではありません。激動の社会、超高齢化、精神構造の複雑化等で、看護業務は改革に改革を重ねています。過渡期に定年を迎え侘びしさを感じますが、上司・同僚に支えられ無事に退職できますことを、深く感謝いたします。

看護婦の披露宴に参加して（写真中央）

＊　＊　＊

昭和三十四年に広島大学附属看護学校第一回生として卒業され、一時家庭に入られた後、昭和四十八年から再び看護業務に専念されました。

特に、平成四年度の病棟・外来看護単位の一元化にむけては、優れた指導力と実践力を持って多大な貢献をされました。その結実が平成七年度に新看護体系および夜間看護等加算の承認となったのです。

若さと美貌は後輩の羨望であり、知的で辛口な発言にもユーモアと暖かさを感じていました。また、卓越した遊び心には博識ぶりが窺え、良き範として数々のご教示を戴きました。

退職後もますます生き生きとご活躍されるとともに、ご健康とご多幸をお祈りいたします。

（看護部　溝上五十鈴　記）

医学部附属病院看護部
谷川重子
〈部局歴〉
昭32・4　医学部附属病院
51・5　医学部附属病院看護部

一口ニュース

研究プロジェクトが始動―総合科学部

総合科学部で「総合科学研究プロジェクト」が動き始めた。

この事業は、総合科学部の理念に則り、文系と理系にまたがる共同研究をはじめさまざまな形の総合的、学際的研究を育成、推進することを目的としたもので、総合科学部に所属する複数教官の協力による総合的、学際的研究プロジェクトを対象にしている。

事業費は、学部長裁量経費として予算配分要項に定める職員旅費、校費が充てられることになっており、一件当たりの申請額は、百万円から七百万程度（単年度予算）になっており、同一課題による継続申請も認められている。

理学部道端教授ら学術賞を受賞

理学部の道端斉教授は、ホヤの金属元素バナジウム濃縮の仕組みを突き止めたことにより、第12回井上学術賞を受賞した。

授賞式は、二月二日、東京の国際文化会館で行われ、井上科学振興財団から賞金二百万円が手渡された。

また、同じく理学部の日置慎治助手も、十二月七日、ゴードン・ベル賞を受賞した。

ゴードン・ベル賞は、計算技術に関する世界で最も権威のある賞で、「性能」についてその年に最も顕著な成果を発揮したスーパー・コンピュータのアプリケーションに対して贈られるもので、賞状と副賞五〇〇米ドルを手にした。